

1

新聖歌 355 番「主と共に歩む」

1. 主と共に歩む その楽しさよ
主の踏みたまいし 御跡をたどる

※ ひと足ひと足 主にすがりて
絶えず絶えず 我は進まん

2. 赤子に等しき か弱き我は
ただ主にすがりて いのちに歩まん

4. エノクの如くに 我をも上に
移させたもうまで 日々主と歩まん

【主は良いお方】

F C/E Dm F/C
わがたましい主をたたえよ
B \flat C
せいなる御名をほめたたえよ
F C/E Dm F/C B \flat
主の良くて くださったことを
C
なにひとつ忘れるな

F Dm
主は良いお方 主は良いお方
B \flat C
恵みとあわれみの冠をもって
F Dm
私の一生 良いもので満たす
B \flat Am Gm B \flat /C F
主は良いお方 賛美を 捧げます

【なんと素晴らしい】

なんと素晴らしい あなたの 愛は
雲より高く 天より高く
ほめよ イエスを あがめよ イエスを
このいのちにまさる 主の愛は

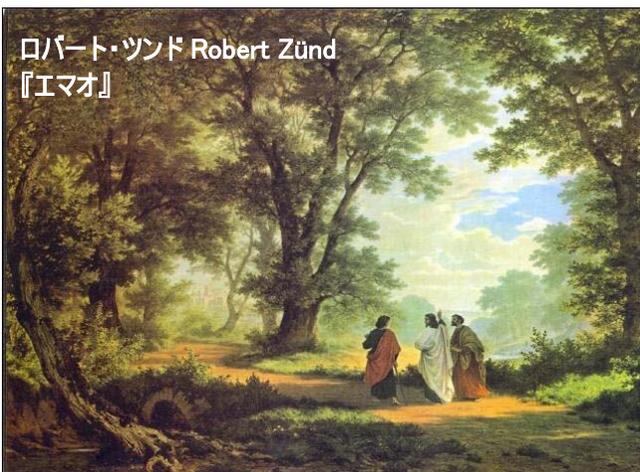
5

祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り
5. 日本と世界の平和を願って...

・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
・瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
・教会が成長しますように!

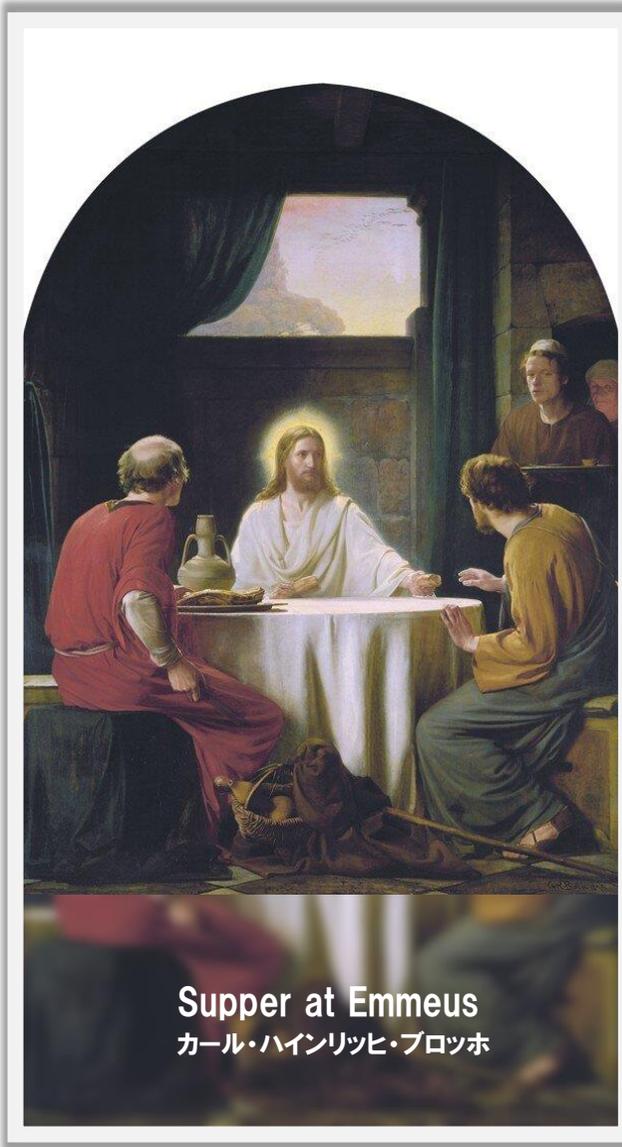
- ① 信徒の皆様が恵まれた信仰生活を送り、キリストの似姿に変えられる成熟と祝福に与りますように
- ② 新しい方が来られますように、未信者の方がイエス様を信じ、救われ、洗礼に導かれますように
- ③ 地域の方々に良い証がたてられ、神の国が広がられますように。
- ④ 瀬戸市・愛知県・日本全国・世界宣教のために用いられる教会となりますように。



ロバート・ツンド Robert Zünd
『エマオ』

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



Supper at Emmaus
カール・ハインリッヒ・プロツホ

祈りの小径(こみち)

Number: 059 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ルカによる福音書24章17～27・32節

17 イエスは彼らに言われた、「歩きながら互に語り合っているその話は、なんのことなのか」。彼らは悲しそうな顔をして立ちどまった。18 そのひとりのクレオパという者が、答えて言った、「あなたはエルサレムに泊まっていたながら、あなただけが、この都でこのごろ起ったことをご存じないのですか」。19「それは、どんなことか」と言われると、彼らは言った、「ナザレのイエスのことです。あのかたは、神とすべての民衆との前で、わざにも言葉にも力ある預言者でしたが、20 祭司長たちや役人たちが、死刑に処するために引き渡し、十字架につけたのです。21 わたしたちは、イスラエルを救うのはこの人であろうと、望みをかけていました。しかもその上に、この事が起ってから、きょうが三日目なのです。22ところが、わたしたちの仲間である数人の女が、わたしたちを驚かせました。というのは、彼らが朝早く墓に行きますと、23 イエスのからだが見当らないので、帰ってきましたが、そのとき御使が現れて、『イエスは生きておられる』と告げたと申すのです。24 それで、わたしたちの仲間が数人、墓に行ってみますと、果して女たちが言ったとおりで、イエスは見当りませんでした」。

25 そこでイエスが言われた、「ああ、愚かで心のにぶいため、預言者たちが説いたすべての事を信じられない者たちよ。26 キリストは必ず、これらの苦難を受けて、その栄光に入るはずではなかったのか」。27 こう言って、モーセやすべての預言者からはじめて、聖書全体にわたり、ご自身についてしるしてある事どもを、説きあかされた。

32 彼らは互に言った、「道々お話しになったとき、また聖書を説き明してくださったとき、**お互の心が内に燃えたではないか**」。

3 黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

熱心で、うむことなく、霊に燃え、主に仕え、望みをいだいて喜び、患難に耐え、常に祈りなさい。ローマ人への手紙12章11～12節

パウロ先生の宣教に同行した、医者であったルカは、彼がどんなに霊(心)燃やされていたかの証人です。その伝道を支えたのは「常に祈る」ことだったでしょう！祈りと言葉と主のご臨在、これが「燃え続ける秘訣」ですね。

4 みことばの解説



あなたの栄光を示してください！
Show us Your Glory! 出エジプト33の18

「復活の喜びを極める」と題して、礼拝の「復活とわたし・シリーズ」に平行してみ言葉を味わっています。エマオの途上の物語は、最も美しい復活の短編物語と言われます。医者ルカだけがこの物語を書いたのは、パウロ先生と宣教旅行をする中で、イエス様が共にいて下さることを何度も感じ、いつもお互いに心燃やされる経験があったからではないでしょうか。

私たちの信仰は誰と共に歩むかで大きく変わります。イエス様はもちろん、心燃やされている人と共に歩みたいですね。同時に私たちが「主のご臨在を感じながら祈り続けるなら」、私たちが誰かの心に神様の炎を分かち合う者となるでしょう。

クレオパともうひとりの弟子は、3～4時間、イエス様と共に歩みながら、聖書全体(旧約)にわたって、イエス様から直接聖書講座をしていただきました。これは凄い特権ですね。あとで振り返って「心燃やされた」と証言していますが、このふたりほど、復活の喜びを極めた弟子はいないでしょう。その講義集をノートにして出版してほしいくらいですが、実は、**同じイエス様が私たちと共に歩んでくださり、聖書を通して語りかけてくださっている！**ことに気付いたら、私たちが彼らと同じように「心燃やされる人生」を歩むことができます。

クレオパが後に初代教会(エルサレム教会)の監督者としてどんな役割を果たしたか、そしてそれがこのエマオの途上の「聖書講座」とどんな関係があるか！祈り会でお話しますが、詳しく知りたい人は、この動画を是非ご覧ください！感動の内容です！

松本牧師のYouTube 聖書講座
聖書を学びたい人におすすめの
チャンネルです！



<https://www.youtube.com/watch?v=v63qfbhDEII>